



電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート
2010年4月・第14号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJプロフェッショナル第20回懇談会（メモ）

1. 日時 平成21年12月16日（水）15時～17時40分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 11名
4. 議事
 4. 1 柴崎一郎氏講演
 - (1) 「科学とは何か？技術とは何か？」のタイトルであった。
 - (2) 古代人の不思議と科学の始まり。技術とは何か。人間の夢や希望と科学・技術の発展。科学や技術を学ぶ若い人へのメッセージ等の内容であった。また、数点の手作りの磁気に関するモデルが紹介された。
 - (3) 不思議な現象を見せる。不思議と思う時、技術への駆動となる。動かして見せると興味を示す。教師は子供の目線と違う。教科書使えないものが載っている（いう必要がある）。大学は何を学生に返せるか。理科支援が来年以降カットされるが再提案すればいい。いい提案をすべきである。等の意見があった。
 4. 2 平成22年1月27日（水）に行われる東京都立産業技術研究センターとの共催の講演会の参加者登録者は12月16日現在21名である。関係者への参加依頼の要請があった。当日の配付資料としてIEEJプロフェッショナルに関する資料作成が承認された。
 4. 3 平成22年度の行事予定が承認された。見学会は年2回実施することとし、大強度陽子加速器施設が提案された。講演テーマとして企業不祥事がなぜ起きるか共通認識をもつべきではないかとの意見があった。
 4. 4 今年度の武蔵村山市における理科支援は終了した。尚、講演については2月下旬に予定されている。



ニュース 2. IEEJプロフェッショナル第21回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成 22 年 2 月 17 日 (水) 15 時～17 時 30 分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 13 名
4. 議事
 4. 1 伊藤二郎氏講演
 - (1) 「省資源社会の構築 (いきいきと生きる)」のタイトルであった。
 - (2) 自己紹介、持続社会の検討、地球の現状と問題点 (人口、経済、資源消費の増加、資源の枯渇、一次エネルギー評価、石油の使用分野、食料自給率、発電電力の割合、経済学の問題、対策例)、省資源社会の構築 (イメージ)、「いきいきと生きる」等であった。
 - (3) 一次エネルギーとしては太陽光もあり、電気への変換だけでない。ドイツでは原子力へのアレルギーで、現在悔いがある。資源について外部経済化は可能であり、内部経済化をどう考えるかである。石油使用の減について各分野で考える必要があり、特に使用量の 35% を占める自動車について考える必要がある等の意見があった。
 4. 2 平成 22 年 1 月 27 日 (水) に行われた東京都立産業技術研究センターとの共催の講演会の参加者は予定より多く、84 名であった。講演会で質問時間があまり取れなかったのが課題である。そのため、後日、質問を受付、回答を作成し、東京都立産業技術研究センター等に配布した。今後は質問時間を含ませた計画とする。
 4. 3 武蔵村山市における理科支援は来年度以降縮小傾向である。現在福生市で来年以降 希望がある。どういう仕組みで動くかという課題がある。教育支援部会で議論してもらう。

ニュース 3. IEEJプロフェッショナル第22回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成 22 年 3 月 18 日 (水) 12 時 30 分～13 時 30 分
2. 場所 電気学会全国大会明治大学会議室
3. 出席者 12 名
4. 議事
 4. 1 平成 22 年度の懇談会、見学会、総会等の行事行程が紹介された。
 4. 2 電気学会における理科支援のあり方
 - (1) 平成 22 年 3 月 8 日に開催された教育支援部会の結果が紹介された。
 - (2) 教育支援部会の結果に関して次のような意見が出されたが、時間切れで結論が出なかった。
 - ・ 教育支援部会に昨年 7 月に理科支援活動者から出された理科支援に関する提案が、その後にもなされていないのはどうしたことか。



- ・ 武蔵村山市では先生の負担をなくそうとして、先生の相談相手として対応しようとしたが、現在は直接生徒の指導となっている。市と当方との考えに乖離がある。
(武蔵村山市の理科支援は、武蔵村山市と電気学会との契約で実施している。)
- ・ 大阪では手作りで子供に興味を持たせることができたと思う。先生から喜ばれている。
- ・ 実働部隊ではどうやったらいいか課題がある。どうやって子供の興味を引き出すか。子供は現象を知らない。壊してわからせることも必要である。
- ・ 戦略は I E E J プロフェSSIONAL に任された。役立つのであれば、これから対応を考えたらどうか。
- ・ 電気学会の事務局が困っている。早急に対応を考える必要がある。

5. 今後の行事

5. 1 第 23 回懇談会

- (1) 日時 平成 22 年 4 月 20 日 (火) 15 時～17 時
- (2) 場所 電気学会会議室
- (3) 講演 深川裕正氏「研究は思索、技術は思想—今後の電力技術動向を探る—」

5. 2 第 24 回懇談会 (見学会)

- (1) 日時 平成 22 年 5 月 28 日 (金) 13 時 15 分～17 時 15 分
- (2) 場所 静岡大学電子工学研究所会議室集合 (最寄駅東海道新幹線浜松駅)
- (3) 講演 三村秀典静岡大学電子工学研究所所長
- (4) 見学 静岡大学電子工学研究所、高柳未来技術創造館

5. 3 第 25 回懇談会

- (1) 日時 平成 22 年 6 月 15 日 (火) 15 時～17 時
- (2) 場所 電気学会会議室
- (3) 講演 小山徹氏

事務局からのお知らせ

I E E J プロフェSSIONAL に役に立つセミナー情報や大学・学校・教育委員会などで I E E J プロフェSSIONAL の人たちが活躍できるお話がありましたらお知らせ下さい。

なお、アクションレポートの更新は定期的に行います。

連絡先：社団法人電気学会 技術者教育課：吉澤 純一

E-mail : yoshizawa@iee.or.jp 電話 : 03-3221-3710